

青森県埋蔵文化財調査センターの紹介です!

HPアドレス : <https://www.ao-mabun.jp/>

青森県埋蔵文化財調査センターは、道路やダムなどを造る前に、遺跡の発掘調査を行っています。これまでに青森県内の様々な歴史を明らかにしてきました。また発掘調査現場を皆さんに公開したり、遺物教材を貸し出したり職場体験の受け入れや、毎年12月には発掘調査報告会で成果の速報も行っています(今年は12月17日(金)からホームページに発掘調査報告資料を公開し、会場では実施しません)。

発掘調査の正式な成果は「発掘調査報告書」という本にまとめて、各地の図書館に置くほか、最近はインターネットでの公開も進めています。当センターの仕事や近年の調査成果を紹介します。

遺跡発掘調査 (いせきはつくつちょうさ)

地面を削って昔の建物の跡をさがします。中央の黒いところが奈良時代の堅穴建物跡です。



地面の下には、現代～何万年も前までの歴史が眠っています。遺跡を掘ると、様々な時代の建物跡・穴・溝やお墓・ゴミ捨て場などが見つかり、土器・石器・鉄製品などが出土します。地元の作業員さんたちは、土を掘り下げて新しい発見をするなど、発掘調査現場で大活躍します。

作業員さんが堅穴建物跡を掘り進めています。柱穴を掘る人、床や周りをきれいにする人など様々です。



約6mの正方形の奈良時代の堅穴建物跡が掘り上がりました。柱穴やカマドの跡が良く残っています。



報告書作成 (ほうこくしょさくせい)



出土した土器・石器は水洗い後、接着剤で接合し、壊れる前の形に復元します。その後、精密な図を描いたり、写真を撮ります。それらの土器・石器と堅穴建物跡やお墓の図・写真を組み合わせて、文章を書き本(報告書)を作っていくします。



3月頃に発掘調査報告書が完成します!

新しい調査成果 (あたらしいちょうさけっか)

古墳時代のお墓!



七戸町猪ノ鼻(1)遺跡



底の両側に柱穴があるお墓は北海道の「統縄文化」の影響です。

だ円形のお墓に南の「古墳文化」特有の土器や飾り用の玉が入っていました。前方後円墳を造らない有力者がいたようです。

大刀、全国初の出土例!



八戸市法靈林遺跡



当時の中央政府から「蝦夷(えみし)」と呼ばれた人々の奈良時代～平安時代の村です。一辺8mほどの一番大きな家が燃やされた状態で見つかりました。土器(土師器・須恵器)・鉄製品・炭化した米などが出土したほか、カマドの煙出し穴から「方頭大刀(ほうとうたち)」と呼ばれる貴重な刀が突き刺されました。木の鞘に入ったまま、出土しました。全国でも例を見ない、初めての出土状況です。

蝦夷は、宝物である貴重な刀をカマドの穴に突き刺して、何を願ったのでしょうか?

これから研究を進めていきます。

問 青森県埋蔵文化財調査センター TEL.017-788-5701 E-mail:E-MZCHOSA@pref.aomori.lg.jp

教育広報 あおもりけん Vol.63

令和3年12月発行
■監修・発行 青森県教育庁教育政策課
TEL03-8540 青森市長島1丁目1番1号
TEL017-734-9868

青森県教育委員会ホームページアドレス ⇒ <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-seisaku/main.html>

北海道・北東北の縄文遺跡群
—JOMON JAPAN—
<https://jomon-japan.jp>

令和2年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞
作品

寄り添いは 閉ざした扉を開くカギ
手を止めて 送信前に 考えよう

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています
(※受賞当時の学校と学年です)

三沢市立岡三沢小学校 6年 大久保 瑞太

むつ市立川内中学校 3年 鈴木 虹花

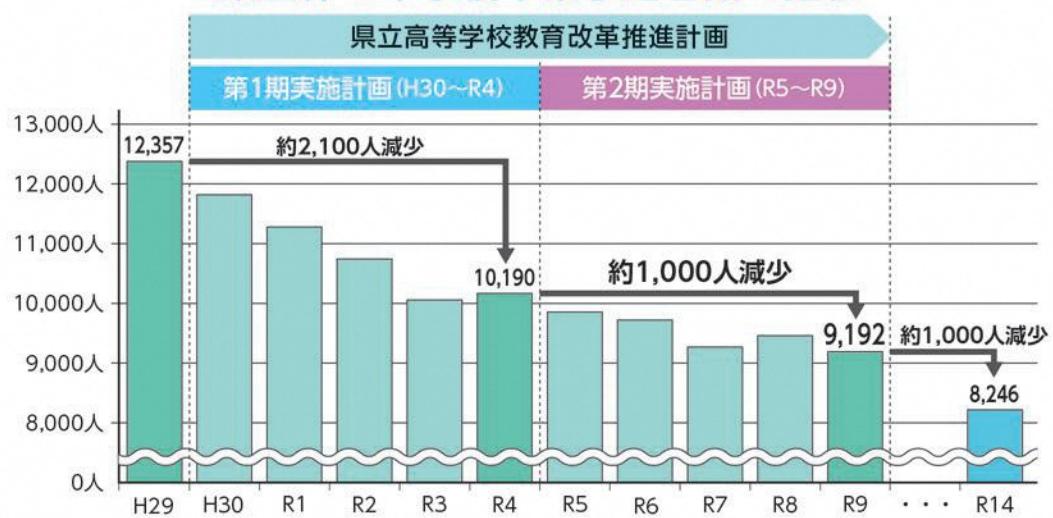
青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画

県教育委員会では、令和5年度から令和9年度までを計画期間とする「青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画」を令和3年11月12日に決定しました。

県立高校教育改革の背景

- 社会の急速な変化
(グローバル化の進展等)
- 高校教育を巡る環境の変化
(学習指導要領改訂等)
- 進路志望等の多様化
- 中学校卒業予定者数の減少
(第2期実施計画期間中に約1,000人減少)

<県全体の中学校卒業予定者数の推移>



第2期実施計画策定の経緯

| 時 期 | 取組内容 |
|-----------------------|---------------------|
| 平成28年 1月 | 青森県立高等学校将来構想検討会議答申 |
| 平成28年 8月 | 基本方針策定 |
| 平成29年 7月 | 第1期実施計画策定 |
| 令和 2年 3月～5月 | 基本方針検証会議開催 |
| 令和 2年 8月 | 基本方針改定 |
| 令和 2年 9月 ～令和 3年 2月 | 地区意見交換会(県内6地区×3回)開催 |
| 令和 3年 7月 | 第2期実施計画(案)公表 |
| 令和 3年 7月～10月 | 地区懇談会、パブリック・コメント実施 |
| 令和 3年11月 | 第2期実施計画策定 |

高校教育改革に関する基本的な考え方(おおむね10年)

基本方針(改定前) R5 基本方針(改定後) R9

学科改編や地区ごとの具体的な学校規模・配置等

第1期実施計画(H30～R4) 第2期実施計画(R5～R9)

<第2期実施計画策定・推進の考え方>

- 充実した教育環境の整備と各地域の実情への配慮
- 生徒の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための魅力ある高校づくりの更なる推進

今回の計画策定に当たっては、各学校の関係者、地域の方々など多くの県民の皆様から、数多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

今後は、未来を担う子どもたちが変化の激しい時代にあっても、夢や志の実現に向けて成長することができるよう取り組んでまいりますので、県民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

なお、これまでの検討状況やご意見に対する考え方については、県教育委員会のホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

問い合わせ先

〒030-8540 青森市長島1-1-1 青森県教育庁高等学校教育改革推進室

電話:017-734-9866 FAX:017-734-8003

メール:E-KAIKAKU@pref.aomori.lg.jp

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-seisaku/main.html>



魅力ある高校づくり

中学生から選ばれる魅力ある高校となるよう、各校の実情に応じて次のとおり取り組みます。

学校・家庭・地域等との連携の推進

- 国内外の高校や大学等と連携した共同事業体(コンソーシアム)の構築等による生徒の進路志望に応じた高度な学びを提供するなど、各校種等との連携を推進します。
- 地域等への理解を深める学習である「あおもり創造学」を進めることにより生徒の「ふるさとあおもり」への愛着や誇り、夢を抱き未来に向かって挑戦する意欲の醸成等に取り組むなど、家庭・地域等との連携を推進します。

教育活動の充実に向けた取組

全国からの生徒募集導入校の導入

- 県外から目標を持った生徒を受け入れ、近年、入学者数が定員に満たない高校の活性化を進めるため、高校が所在する市町村の意向等を踏まえながら、全国からの生徒募集を導入(令和5年度入学者選抜からの導入を基本)します。

その他の取組

- 「各校に関する情報発信の充実」、「特別な支援を必要とする生徒等への対応」、「ICTの活用による教育活動の充実」、「施設・設備の充実」等に取り組み、学校内外の教育資源を積極的に活用しながら、中学生に選ばれる魅力ある高校となるよう、各校の特色化・魅力化を図ります。

県民の理解と協力の下での高校教育改革の推進

青森県立高等学校教育改革推進計画の進捗管理

- 高校教育を巡る環境の変化や中学校卒業者数の見込み、生徒の志願・入学状況等を確認の上、第2期実施計画の取組状況について検証し、必要に応じて実施計画を見直します。

次期実施計画の策定

- 今後も引き続き、教育環境の充実に取り組む必要があることから、令和10年度以降を計画期間とする次期実施計画を策定することとします。その策定に当たっては、県民の皆様からご意見を伺う機会を設けながら、新たな時代を主体的に切り拓く子どもたちを育むための高校教育の在り方を検討してまいります。

青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画

重点校、拠点校の令和3年度の取組を紹介します!

県教育委員会では、生徒数が減少する中にあっても、県全体における高校教育の質の確保・向上を図るために、青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画に基づき、普通科の重点校6校、農業科・工業科・商業科の拠点校6校を各学科の教育活動の中核的な役割を担う高校として配置しています。

今回は重点校、拠点校の各校が他校と連携する具体的な取組の一部として、田名部高等学校と青森商業高等学校の取組を紹介します。

重点校

【田名部高校の取組】 英語指導力向上研究会(オンライン)

日程:令和3年9月17日 場所:田名部高校
参加:七戸高校、野辺地高校、弘前南高校、六ヶ所高校、西北教育事務所、三沢市教育委員会、青森市立浪打中学校、むつ市立近川中学校から各1名



英語指導力向上研究会は、田名部高校が大学と連携しながら研究・開発した、コミュニケーション中心の英語の指導方法である「TANABU MODEL」をとおして育成した知識・技能を評価するための定期考査のあり方について協議する研究会を実施し、県内中学校・高校の英語科教員の指導力向上を図るものであります。

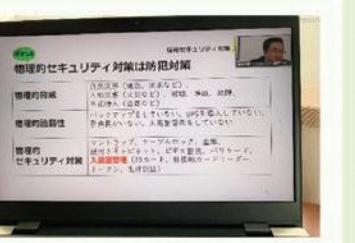


講師である大学教授からの助言にあった、考査は教育活動の一環であって教育的フィードバックが一番重要であるとの観点や、生徒の状態を見取る重要性、CAN-DOリストの在り方など、とても参考になりました。

拠点校

【青森商業高校の取組】 情報処理技術者試験対策講座リモート講習

日程:令和3年9月4日 場所:各家庭におけるリモート講習
参加:青森商業高校、黒石商業高校、三沢商業高校、八戸商業高校、弘前東高校の5校から合計31名



情報処理技術者試験対策講座は、高度IT人材の育成を目的とした取組です。今年度は個人情報の取扱担当者や企業の情報資産管理担当者を対象とした「情報セキュリティマネジメント試験」(国家資格)に関する講習を行いました。例年は津軽地区、県南地区的会場に集まって開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策として、県外講師の講義をリモート配信し、各校の生徒は情報端末を使って自宅で受講しました。

問題文から必要な情報を正確に読み取る力が必要であることを実感しました。今回学んだことを生かして、今後試験に臨みたいと思います!

中学生・高校生の保護者の方
ご存じですか?

学びを支える修学支援制度

(以下の内容は、令和3年度のものであり、国の制度改革などにより内容が変更になる場合があります。)

次の全ての要件に該当する場合に給付の対象になります。



高等学校等就学支援金

全ての意志ある高校生が安心して勉学に打ち込む社会をつくるため、生徒に対して授業料に充てる高等学校等就学支援金を支給し、家庭の教育費負担を軽減する制度(返済は不要)です。(以下の内容は、平成26年4月1日以降の入学者から適用となっています。)

受給資格(次の要件を満たす必要があります。)

- 在学要件 高等学校、専修学校高等課程等に在学している生徒
※通算して36ヶ月を超えて在学しているなど、在学状況によって対象となる場合があります。
- 在住要件 日本国内に住所を有する生徒
- 所得要件 保護者等の市町村民税の課税標準額に6%を乗じた額から市町村民税の調整控除の額を差し引いた額(両親がいる場合は2名の合算額)が304,200円未満である生徒



支給額

| | 全日制 | 定時制 | 通信制 |
|----|-------------------------------|-----------------------------------|--------------|
| 県立 | 9,900円/月 | 2,700円/月 | 単位制 1単位 310円 |
| | 9,900円/月 (年収590~910万円未満程度) | 単位制 1単位 4,812円 上記以外 9,900円/月 | |
| | 33,000円/月 (年収590万円未満程度) | 単位制 1単位 12,030円 上記以外 24,750円/月 | |

(注) 年収590~710万円未満程度の場合、県が上乗せして補助します。

*保護者の離職や傷病等、家計が急変した世帯のための支援制度もあります。

申請手続

受給するためには、申請手続が必要です。学校から申請手続きについてお知らせがありますので、それに従って各学校へ申請書類を提出してください。



問 (県立) 各県立高校又は教育庁学校施設課

TEL.017-734-9873
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-shisetsu/koutougakkoutousyuugakusienkinn.html>



(私立) 各私立高校又は総務部総務学事課

TEL. 017-734-9869



私立高校等の生徒に対するその他の支援

私立の高等学校・専修学校・各種学校に在籍する生徒に対しては、上記の他に以下の補助金の制度があります。

問 各私立学校又は総務部総務学事課
TEL.017-734-9869

1 青森県私立高等学校等就学支援費補助金

私立高校等に在学する生徒が一定の所得区分世帯に該当する場合、この補助金を高等学校等就学支援金に上乗せして支援します。

また、生活保護受給世帯及び非課税世帯の場合は、新1年生の入学金についても支援します。

2 青森県私立学校被災幼児生徒授業料等減免補助金

東日本大震災に起因する事情により家計が急変した世帯の幼児生徒等の教育費について、県が支援します。(私立学校が授業料、入学料及び納付金を減額します。)

青森県学生寮入寮生募集 ~東京で経済的な負担が少なく修学できます~

入寮資格 保護者が青森県民で、東京都又はその近郊の大学・専修学校等に在学しているか、令和4年4月に入学見込みの男子学生

場 所 東京都小平市鈴木町1丁目103の1

部 屋 個室で、ベッド、机、エアコン等が備え付けてあります。

経 費 入寮費 年額3万円 習費 月額3万円

食費 1食450円(平日の夕食のみ)

電気料金 実費(上・下水道料金無料)

インターネット 月額1,700円

募集人員 約50人

募集期間 令和3年12月1日~令和4年3月29日まで

申込方法 県内の各高校又は各教育事務所にある願書に必要事項を記入の上、添付書類とともに青森県育英奨学会へ提出してください。

(大学等の合否決定前に出願できます。)

問合せ先 在学する学校

※詳しくは、県庁HPで「学生寮」検索



問 青森県育英奨学会(教職員課内) TEL.017-734-9879

